



今まで関わったことが  
ないので想像がつかない

興味がわからない

時間的に余裕がない

# MISSION

一部の人に  
負担が大きくなっている

都心の千代田区で、

コミュニティはなぜ必要なの？

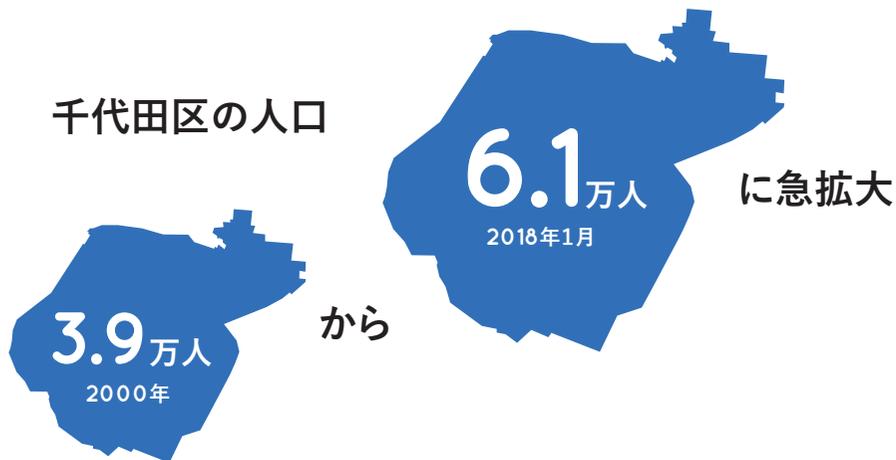
どう実現できるの？

実態が見えないので  
わからない

担い手が高齢化している

常連で顔馴染みの方々が大勢

やめたい時に  
やめられないのが煩わしい



昼間人口は **85**万人

マンションなど共同住宅の居住率 **89.2%** \*3

町会や地域の活動などに  
参加したことない

**68.7%** \*1

千代田区在住  
10年未満が

**5割超** \*1

町会・連合町会に  
積極的に  
参加している

**13.5%** \*2

NPO・ボランティアに  
参加したい

**7.2%** \*2

## 今、なぜコミュニティ？

千代田区の人口が、高層マンションの増加によって急速に増えています。またオフィスや大学が多数あり、多くの昼間人口が活動しています。

千代田区には、神田、麴町の町会を始めとする伝統あるコミュニティが多数あり、これまで地域社会を支えてきました。しかし、生活スタイルも地域との関わり方、コミュニティの考え方も大きく異なる新しい住民が急拡大し続ける中で、地域における人のつながり方、関わり方も変化しています。これまでのコミュニティの姿をそのまま維持するのは難しくなっていますが、新しい住民の考えや進め方に全て合わせ、地域の伝統や文化などの個性を失うのも望ましくありません。

10年後、20年後を見据えて考え、千代田区での人のつながり方、コミュニティのあり方を見直し、新しい姿を模索する時が来ています。

## なぜ、ちよだコミュニティラボ？

住む人、通う人の価値観やライフスタイルも多様化し、地域やマンションの特性も多様です。しかも、つながりやコミュニティは、誰かに指示されてできるものでもありません。

長らく地域を支えてきた人の思いや守ってきたことを踏まえつつ、新しい区民の思いやライフスタイル、そして通う人、訪れる人にも対応できる地域の姿、コミュニティとは何か？という問いに、正解はありません。

この正解のない問いに対して、区民や区内で活動する人たちが共に考え、試行錯誤する実践から学びながら、新しいコミュニティの姿を探求していく、まさにラボ(探求の場)として、地域コミュニティ醸成支援事業を行っています。

平成29年度4月にスタートし、下記の3つの問いに対する探求を行ってきました。

LAB 1 マンション住民にとって必要な「つながり」とは？

LAB 2 これからの地縁関係は？  
町会と新しい住民のつながりを広げるには？

LAB 3 テーマ型活動・大学・地域は、どうつながれる？

\*1 平成29年度区民世論調査より

\*2 地域コミュニティに関する区民アンケート調査(平成25年)

\*3 平成27年国勢調査



# マンション住民にとって必要な「つながり」とは？

< Report from マンション・コミュニティ・ゼミ >

## Q マンションのつながりの現状は？

多様な価値観があり、つながりへの考え方、ライフスタイル（特に生活時間帯）も人によって違う

町会や祭りに興味があっても、地域への入り口がわからない

イベントに景品をもらいに来ても、その後つながれない人も多い

町会、管理組合、マンション住民に届く情報には違いがある。住民は情報にアクセスできていない

豊富な経験を持つ人財が多数いるのに活かしきれていない

保育、教育、介護など似た課題を抱える人は、どこにいるのか、わからない

マンションは規模もタイプも、それぞれ違う。一つの考え方、進め方は無理

マンション・コミュニティ・ゼミ第1回での対話「現状の課題」より

## Q どうつながれるのだろうか？

マンション暮らしをしていて、日々の暮らしの中で、つながりや助け合いが必要な場面って何だろう？他の区民がどう感じているか知りたいことって何だろう？

ゼミに参加したマンション暮らしの区民たちは、時に1対1で、時にグループで、時に書き出して相互評価しながら、対話を重ねました。そこから、生まれてきた6つの問いを、千代田区に住む人、通う人に問いかける公開対話を開催しました。



### 公開対話 ゼミ参加区民からの6つの問いかけ

- ◎育児・外遊び・習い事などを助け合えるには？
- ◎高齢者も健康に安心して暮らせる環境とは？
- ◎社員の関わり方、退職後の入り方は？
- ◎つながりを育みやすい街をつくるには？
- ◎マンションと町会の良い関係をつくるには？
- ◎地域で孤立する人を作らないようにするには？



公開対話「聴こう、話そう これからの千代田のコミュニティのこと」  
H29.9.10 参加者29名

## Q どのようなきっかけができるだろう？

ゼミでの対話を通して、一人ひとりの思いから5つのプロジェクトが立ち上がりました。

### Step 1

#### 分かち合いたい問題意識

マンション・コミュニティに関心ある人達と話し合うことで、漠然としていた問題意識が言葉になります。

### Step 2

#### きっかけとなるアイデア

自分の問題意識を、公開対話で区民に問いかけました。テーマに関心ある区民との対話を通して、新しい視点やアイデア、地域のニーズと資源への理解も深まります。

### Step 3

#### 区民の、区民による、区民のためのプロジェクト

企画ミーティングで、自分の問題意識を地域のニーズや資源と結びつけ、参加する魅力となるアイデアを加えることで、プロジェクトが生まれました。

## Project.1

### マンションで高齢化が進むリスク

マンションのプライバシー保護というメリットは、高齢期や災害時に孤立を生むリスクになりうる。団塊の世代が後期高齢期に入る時代に「マンションで老いる」にどう備え、孤立や孤独死を防ぐか。

#### つながれば、高齢うつや認知症も予防できる！

【アクション】近年の「高齢者の健康とつながり」に関する研究のリサーチ

1/12 民生・児童委員のみなさん、マンション管理士との意見交換会

2/8 区民向け公開講座

### マンション住民の高齢化に備え、千代田区民のできること



## Project.2

### 近所の親子とつながれていない

千代田区は待機児童ゼロだが、家の近くの園に入れない場合もある。共働き世帯は平日の子育てイベントに参加しづらい。そのため、子育てしていても近所で同世代の子どもを持つ家族と知り合えておらず、地域情報の共有もしづらい。

#### 休日の外出を共に楽しめる仲間が近所にできたら！

【アクション】秋葉原エリアで就学前の子育てをする人にとって必要な情報を収集し、資料に。

2/12 まち歩き&交流イベント「休日の秋葉原に子どもと出かけてみよう」を開催。子連れで楽しめる秋葉原のまち歩きと、地域の子育て情報のシェアを実施

### Kanda Baby & Kids ~ 神田・秋葉原エリアで子育て世帯が休日をもっと楽しめるように！



## Project.3

### 退職後、地域暮らしを楽しむには？

会社退職後に、身近な地域で、自分の経験を活かして遊び・仕事・社会貢献をバランスよく楽しめるライフスタイルについて語り合い、それぞれの目指すことを応援しあえるようなネットワークを持っていたい。

遊び・仕事・社会貢献の  
3つのバランスが大切！

【アクション】富士見地区で月1回の会をスタート  
(2/10 ライフシフトから学ぶ、3/17 地域とのつながりを考える)。

### プレミアムエイジを「3X3型」で楽しむ会 遊び・仕事・社会貢献で人生100年時代を楽しもう



## Project.4

### 新しい子育て世帯と町会のつながりは？

子育て世帯を含めて人口が増えていても、町会とマンション住民のつながりが弱い。公園やイベントでの子どもの数は増えたが、町会からみて、子育て世帯の顔が見えない。

防災、歴史の情報誌を、  
一緒に改訂しよう！

【アクション】2011年に制作した「四番町防災とまちの歴史」を、子育て世帯と共に改訂する。町会facebookページの立ち上げ。

2/10 キックオフ企画会議を開催。子育て世帯向け体験型イベント、オンライン情報発信を企画中。

### 四番町町会 情報誌「防災とまちの歴史」 2018年改訂版 制作プロジェクト



## Project.5

### 区や地域の情報が住民に伝わるには？

区の事業やイベントなどは充実しているが、特に単身世帯、若い世代など新しい住民、在勤・在学者に届いていないものも多い。町会とマンション住民の距離があり、土地の歴史、文化、祭りなども引き継げないかもしれない。

区民らの経験・スキルで  
区民ならではの広報活動しよう

【アクション】分断なく情報が分かち合えるよう区民にできる広報活動を実現する方を、区民で考え、実行していきたい。

3/16 キックオフミーティングを、区の広報広聴課、東京メトロからのゲストも招いて開催。

### ちよだ広報部



コミュニティづくりについて  
学んだことは？

自分自身の関心や考えを外に出してみたら動き始めた。少し動いてみると、人の顔が見えてくる！



# これからの地縁関係は？

## 町会と新しい住民のつながりを広げるには？

神田公園地区連合町会のみなさんとの探求 < Report from 神田公園地区連合町会 地域課題解決支援 >

### 神田公園地区とは？

- ◎江戸時代には西半分が大名屋敷、武家屋敷、東半分は高密度な町屋でした。関東大震災でほとんど焼失した後、復興区画整理事業において、靖国通りなどの幹線道路が整備され、現在の地域の骨格ができました。
- ◎住商混在の下町型の町として活気がありましたが、地下鉄整備後、交通の便の良さから業務地化が進み、オフィスビルが拡大する一方で、人口は減少しました。
- ◎近年、マンションも増えてきていますが、まだ地域によってバラツキがあります。
- ◎神田公園地区連合町会は20町会から構成されています。町会長ら役員は神田で生まれ育った人、長く住む人がほとんどです。



### Q 町会のつながりの現状は？

#### 町会長からみて

神田は住職近接のライフスタイルを基に発展してきたが、今、増えているのは住まいと仕事は別の人。その人たちが地域に関わる意味は古くからの人にとっての意味とは違うだろう

「マンションができたから、そこに住む人に町会に入ってもらう」という気運はまだ全員は持っていない

古くから住む人と新しく住み始めた人でコミュニケーションの感覚や取り方が違う。お互いに相手の感覚を知っていないと、悪気がないのにすれ違ってしま

祭りや餅つきなどの行事を町会の人は大切にしたいと思っている。それをわかってもらえるだろうか？

祭りやイベントに参加している人はいるが、町会活動への参加につながっていない

町会によって状況も違い、課題認識も違う

マンション住民に無理して合わせることもないという声もある

住所と町会がズレているので、新しい住民にはわかりにくいのでは？

マンション住民は数年後もいるかわからない人も多い。新しい住民には、地域に関わりたくない、避けている人たちもいる。そのような人たちと、どう関係をつくらばいいのか？

町会は、どう新住民と関われるか悩んでいるが、新住民の方は地域のこと考えてるのか？

WEBサイト「大好き神田」を立ち上げ、大切に運営してきた。情報を掲載しているが、新住民に十分に届いてはいない

#### 新しい住民からみて

神田の町が気に入って住み始めたが、「じゃあ町会に入ろう」とは思わなかった

町会を意識していないと、イベント案内があってもスルーしている

町会が何をしているのか、どんな人がいて、活動の楽しさは何か、イメージが持てない

実態は知らないが、負担が大きそう、お金をとられそう、付き合いが面倒そうというイメージがある

町会を知ろうとネットを検索したが、町会のサイトにたどり着けなかった

町会への入り方がわからない。いつ、どこにコンタクトすればいいか、外部から見えない

地域のベテランの方たちは関係もできていて、仲良さそう。私たちが入れる余地はあるのか？

コミュニティ会議 事前会議、第1回より

新住民インタビュー、町会Q&Aの声より

## Q どうつながれるのだろう？

町  
会長

町に住む人や働く人が足並みを揃えて、よいまちづくりをするために、会員相互の親睦と交流のための祭りや美化イベントなどの行事、自主的な防犯・防災活動、消防・警察との連携による備え、町の環境美化などを行っているよ

活動を通して町のことを知れたり、町の人と仲良くなれることかな？

ただ、メリットばかりを求めて、町会に入ってもらいたくはないな。町会活動には、防犯、防災などの責任も、伝統を受け継ぐ意味もあるので、“自分のメリット”だけじゃないと思う

町民文化の基本は自治にあるからね

いきなりだね。まずイベントに参加したり、似た世代の住民で知り合せて、神田のことを好きになってもらえたらと思う

転校生がいきなり学級委員長になるのも難しいだろう  
お互いに気にはなっているので、知り合っていくことが大切だね

町会は色々なイベントをしているから、参加してみたらいいよ。参加してみると意外に楽しいと新しい人も言っているよ

神田の祭りは当日は人が多いので、準備や片付けに来てくれると、話もしやすいし、町会の人にとっても助かるよ

これまで町会員、特に知り合っている人同士ばかりのイベントだったから、新しい人への対応に慣れていないし、そういう困り事に気づいていないかも

そのため、WEBサイト「大好き神田」にはイベント案内やレポート、町会長インタビューなどを掲載しているよ

町会は何をしているのですか？

町会に入るメリットって何ですか？

なるほど。でも、それって新しい人には少し重く感じるかも

知り合うには、どうしたらいいですか？

イベントに行ったけど、受付がなかった  
ので帰ったという話もありますが

新しい住民からは「見えない」「きちんと運営しているの？」という声もあります

新  
住民

神田公園地区連合町会では、連合町会役員の方達が月1回のペースで、コミュニティを考えるミーティングを行ってきました。



ただ、話すだけでなく、事務局で資料をまとめたり、新住民の方へのインタビュー、町会Q&Aなど新しい人の声を伝えていくことで、議論の視野を広げていきました。



## Q どのようなきっかけができるだろう？

この町で生まれ育った町会の人たちは、この町に住み始める、新しい住民の視点から、この町のことや町会のことを考えたことはないのではないか？

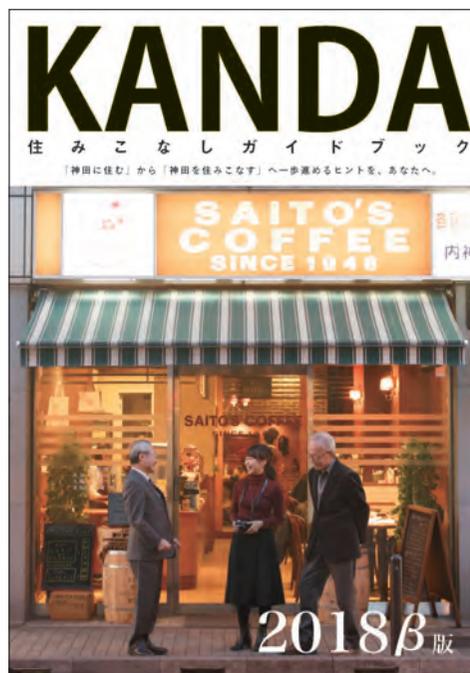
高額なプレミアム・マンションを買った人にとって、町会がプレミアムな暮らしの足を引っ張るものなら参加しない。どう伝えるかが大切では？

### 「KANDA 住みこなしガイドブック」制作開始！

「町会ありき」ではなく、町に興味ある人がイベントに顔を出そうと思えるものを

老舗など町の魅力も、町で活動する楽しさも、防災などで行政と連動していることも伝えたい

「大好き神田 (<http://www.daisuki-kanda.com/>)」や店舗とも連携できるものを



〈 画像は制作中の見本です 〉



「町会の冊子」だと、手に取らない。自分の生活に関係あることから入って、その背景に町会があると伝えたい

マンションと行政が良ければ暮らしは大丈夫と思いがち。実は身近な人の存在が地域のプレミアムだと伝えたい

町の人の顔が見えることで、住み始めた人が出会ってみたいくなるものを

「KANDA 住みこなしガイドブック」は7月の完成を目指し、制作進行中です。夏からの町のイベント、お店などで配布、WEBやイベントとの連動なども予定しています。



### コミュニティづくりについて学んだことは？

町会では、自分の関心や周りの人を見て気づいた問題から始まる活動が集積され、複合的に取り組んでいる。時間をかけて培ってきた思いの伝承、関係性、問題理解を、町を共有する人たちとシェアしていくことが、町の一員となること。



# NPO・ボランティア・大学・地域は、どうつながれる？

〈 Report from ちよだコミュニティ ラボライブ! 〉

## Q NPO・ボランティア・大学・地域のつながりの現状は？

区内には多様な活動があるが、それぞれのテーマで動き、つながりがない

自分の活動で忙しい中、交流のために時間を割づらい

発表や展示の場では、それぞれが発表するだけで、お互いの交流が少ない

どんな活動があるか知らない

大学があっても、地域とつながれる活動は何か、どうコンタクトすればいいかわからない

それぞれの分野や区の事業で、団体の活動紹介や報告会が別々に行われている

発表者が主役で、参加者が聞かされるイベントが多い

交流イベント説明会の参加者団体の意見より

## Q どうつながれるのだろうか？

区内には、NPOなど多様なテーマ型の活動、大学や専門学校による「千代田学」の研究、町会などの地域活動があります。その団体同士が交流でき、つながれる場はどのようなものが必要なのか？区内の活動実践者と意見交換を重ねながら創り出してきました。

団体同士のつながりは必要！

9月  
交流イベントに関するアンケート  
(40団体から回答)

交流イベント企画案作成

11/29、12/7  
交流イベント説明会  
17団体・大学27人の参加

説明会の意見を基に企画案をリニューアル  
「ラボライブ！」

実行委員募集 ▶ 37団体の参画

1/24、3/1 実行委員準備会議

個別活動、分野別で発表の場がある中で、なぜ行うの？誰が来るの？

私たちは、どう関わればいいのか？



実行委員の思い

千代田区の可能性を共に探りたい  
団体同士も団体と参加者も お互いによく知り合いたい  
千代田区で新しいことを始めたい人とつながりたい



# Q どのようなきっかけができるだろう？

千代田区のコミュニティを考えている人がこんなにも多くいるんだと思った

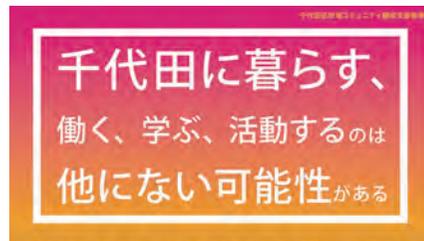
様々な団体が様々なやり方で千代田区を良くしようと活動しているんだ!と発見した



ちよだコミュニティ

## ラボライブ!

千代田での活動の可能性を、共に探る探る100人会議



そう思うあなたを100人会議にご招待



詳細・参加登録 <http://chiyolab.jp/lablive>

千代田区で活動する人、自分も参加したい、始めたいと考えている区民や区に通う人が、出会い、顔見知りになり、話し合う中で、お互いを理解し、連携の可能性を探る場

平成30年3月10日 千代田区役所区民ホール 参加者127名

### 第1部

基調シンポジウム

#### 「今、変わりつつある千代田のコミュニティ」

神田公園地区連合町会の町会長さんたちから、神田がどう変わってきているか、これから考えた時、町会はどう変わる必要があるのか紹介し、それをヒントに今の千代田のコミュニティをめぐる論点を探りました。



### 第2部

テーマ別100人会議

5つのテーマに分かれて、活動団体からの話題提供をきっかけに地域の活動を知り、意見交換を深めました。

#### 都心の街で子育て・教育を助け合うには？

[実行委員] 大妻女子大学食育ボランティアグループ「びーち」、御茶の水美術専門学校 親子共育プログラム、秋田県五城目町・千代田区こども交流会、ちよママ、就学準備教室リリーふ、

Kanda Baby & Kids、しんぐるまざあず・ふぉーらむ

#### 地域、マンションでの孤立を防ぎ、つながりをつくるには？

[実行委員] 法政大学大学院政策創造研究科 上山研究室、家族介護者サロン ランプの灯、NPO都市住宅とまちづくり研究会、半蔵門あるまっぶ実行委員会、マンション住民の高齢化に備え、区民ができること、日本歯科大学 山崎てるみさん、ひつじの会



自分が行っている活動とは違った角度から千代田区を考えることができた

情報の発信など共通の課題があることに気付いた



### 街の文化、記録・記憶を引き継いでいくには？

[実行委員] 「インターユニバーシティ神保町」実行委員会、共立女子大学家政学部児童学科 本澤淳子さん、海老原商店、グリーンネイバーフッド千代田を目指す会、街いっばいの長唄実行委員会、神田公園地区連合町会、四番町町会、共立女子大学家政学部被服学科 宮武恵子さん、法政大学 エコ地域デザインセンター 山田ちひろさん

### これからの新しいコミュニティとは？

[実行委員] 御茶の水美術専門学校 チームB、明治大学 町づくり道場、アキバへ恋!、NPO法人生涯学習を推進する会、NPO法人りぷりと・ネットワーク、ちよだ広報部



千代田区の層の厚さ、深み、幅広さを感じました



### 街で自分を活かし、やりがいを充たすには？

[実行委員] NPO法人シニア大楽、NPO法人地球の友と歩む会、ちよだ日本語カフェ Swan、CCxTOKYO、プレミアムエイジを「3x3型」で楽しむ会、法政大学人間環境学部 高田雅之さん、ワンダーアートプロダクション

我々の団体に足りないもの、我々の課題を明確にしたら協力できそうな団体も見つかった



参加者の声はアンケートより

### 第3部

### 全体交流100人会議

テーマ、分野を超えて、参加者全員で交流しながら、今日、考えたこと、これからの地域に必要な活動について対話しました。

町会の方たちがステキで、連携できたら素晴らしい!



### コミュニティづくりについて学んだことは？

先ず知ること。そして話し合うこと。それを通して、団体の間の共通の課題、それぞれの強みやリソース（資源）をお互いを知ることで、連携の芽が生まれてくる

## ちよだコミュニティラボ 2017において、区民の方たちとの試行錯誤から学んだことは？

つながることを目的に、  
つながりはできない

自分の価値観やライフスタイルを持ち、プライバシーを大切にしている人に、いきなり「マンション内でつながろう」「町会に入ろう」「新しい人を入れよう」と言っても難しい。

ただし、シェアは知らない人同士、  
一方的な関係では難しい

- ◎近くにいても、お互いを知らない。
- ◎よく知らないままに「つながった方がいい」「こうした方がいい」と言われると、不信や不安が生まれる。
- ◎よく知らない人、信頼しきれない人に「助けて」とは口にできない。

町を  
シェア

近くにいれば、メリットも  
リスクも共有している

3つのシェアから、  
つながりは芽生える

課題を  
シェア

一人や単独では  
解決しづらい課題がある

リソースを  
シェア

人も活動も豊富にある

知らない人との関係は面倒で、リスクも  
あるが、可能性も大きい！

- ◎自分の知らないこと、日々の生活や仕事では出会えない人や知恵に出会える
- ◎経験や豊富なこと・もの、ネットワークを持っている人がたくさんいる
- ◎出会いが、自分の課題にも可能性にも気付く機会となる



鍵はお互いを知るプロセスにある。

できる範囲から関係づくりの時間をとってみよう  
イベント等に顔を出して、まず顔見知りから  
気をかけ、声かけ、問いかけて、小さなシェアを試そう！

ちよだコミュニティラボは2018年度も、区に住む方、通う方のシェアの場づくりを お手伝いしていきます



本パンフレットで紹介した活動の詳細は、  
ちよだコミュニティラボのWEBサイトで掲載しています。  
ラボでは、facebookページ、メールマガジンでの 情報発信も行っています。

<http://chiyolab.jp>

千代田区地域コミュニティ醸成支援事業

主催：千代田区コミュニティ総務課  
運営事務局：株式会社エンパブリック

平成30年3月30日発行

お問合せ先

電話 03-5211-3656 (区コミュニティ総務課)

メール [chiyolab@empublic.jp](mailto:chiyolab@empublic.jp)